

日鶏協速報

高病原性鳥インフルエンザ関連 No. 1

農林水産省から、「北海道美唄市で回収された死亡野鳥におけるA型インフルエンザウイルス簡易検査陽性の確認に伴う防疫対策の再徹底について」の通知が発出されました

昨日、北海道美唄市で回収された野鳥（ハシブトガラス）1羽の死亡個体におけるA型インフルエンザ簡易検査で陽性反応が確認されました。

本事例は、今年度の渡り鳥の飛来シーズンを迎えて以降初めてとなる国内での鳥インフルエンザウイルスの検出が疑われる事例となります。

なお、本病に関する最新の情報については、当省のウェブサイトにて随時提供しますので、関係者への注意喚起に御活用いただくようお願いします。

【農林水産省ウェブサイト】

○鳥インフルエンザについて

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

○令和5年度 鳥インフルエンザに関する情報について

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r5_hpai_kokunai.html

今般、農林水産省から発出された下記の通知をご覧ください、鶏卵生産者の皆様におかれましては、今後とも鶏卵の安定生産と安定供給にご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

[一般社団法人 日本養鶏協会](#)

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：03-3297-5515 FAX：03-3297-5519 E-mail：info@jpa.or.jp

担当：浅木、阪本、野澤